

## ■アーセプトお花 Library 2026 - Vol.1 新年

毎週第一営業日、お花屋さんから届くアラカルトな花材を、その日、手の空いているスタッフが生けています。「お花はお客様をお迎えするこころ」をモットーに長谷部理佳先生（古流松應会）の「手製のイラスト入り教本」を参考にしながら、女子を中心に自由に楽しんでおります。

今回は 2026 年初の生け花を長谷部顧問と女性職員で生けました。

お正月らしい花材で配色を考えながら作成しました。

### 【長谷部顧問 作】



立体型。お正月らしい花材をスッキリと生けてみました。緑を基調に、南天の赤と菊の黄色が映るように工夫しました。古より菊は薬草としても重宝され、芭蕉の句を詠いたくなりります。

山中や 菊はたおらぬ 湯の匂い

松尾芭蕉（『奥の細道』山中温泉にて）

（コメント：長谷部）

【糸山 作】



立体型。お正月の花材をバランス良く配置しています。特に、根締めの南天の赤と松の流線は、絶賛ものです。生け込みの時は、まだ蕾だった白梅が咲き始め、時の経過を楽しめる作品です。作者の生花歴は三年位になりました。年々腕を上げてきて、スゴイと感心しております。梅を愛でると「令和」の典拠となった「梅花の宴」を思い浮かべます。

初春の令月にして 気淑く風和らぎ

梅は鏡前の粉を披き 薰は珮後の香を薰らす

大伴旅人(『万葉集』大宰府にて)

(コメント: 長谷部)